

RI 第 2530 地区
県北第一分区
福島ロータリークラブ



2019 – 20 年度 右近八郎会長より会員の皆様へ

福島ロータリークラブ会員の皆さまにおかれてはいかがお過ごしでしょうか。

去る 2020 年 3 月 31 日に福島市内にて新型コロナウイルスによる感染者が発生し、3 月理事会にて決定した方針に従い、4 月 2 日(木)の例会は中止させていただきました。

すでにご案内のように、4 月 2 日夕方に 4 月理事会を開催し、4 月中の例会も中止することになりました。例会再開については 5 月 14 日(木)の例会を目途に、理事会にて検討することになりました。これまでに経験の無い状況であり、ロータリー活動に対する会員の皆さまのご理解をお願い申し上げます。

4 月中の例会中止に伴い、このような「会長あいさつ」を適宜発信することに致しました。

いつものように直接的にはロータリーとはあまり関係の無い話題ではありますが、例会再開までの間、本当に暇なときにでも目を通していただければと思います。

ご存じの方もいるかと思いますが、私は福島に来る前は東京でサラリーマンをしており、ゼネコンで土木工学者として勤務していました。技術系では理学と工学という範疇があり、理学は真実を、工学は事実を追究する学問とされています。私は工学者として事実を追究することに慣れており、今回のような騒動でも感染者数など政治的な制約を受ける指標ではなく、信頼度の高いと考えられる死亡率に注目しています。

以下では人口 100 万人あたりの死者数を死亡率として各種のリスクの死亡率を紹介します。ちなみに日本国内での全体の死亡率は、2018 年の総死者数は 136.9 万人で、総人口を 1.26 億人として、死亡率は計算上 10,865 となります。

前回のあいさつで、今回の新型コロナウイルス感染による日本国内の死者数は 45 名 (3/26 時点) でしたが、現在は 94 名 (4/6 現在) となっています。死亡率は 0.75 です。ちなみに 4/6 現在、スペイン 270.9、イタリア 262.7、フランス 120.8、アメリカ 29.4、ドイツ 19.1 等々となっています。日本は確かにもちこたえています。次に国内での一般的なリスクの死亡率を紹介します。まずインフルエンザによる死者数は昨年 3,325 人で死亡率は 26.4 でした。今年はなぜか激減しているようです。自動車事故による死者数は昨年 3,215 人で死亡率は 25.5 でした。自殺に関しては、2019 年の自殺者数は 1978 年の統計開始以来初めて 2 万人を下回り 19,959 人となり、それでも死亡率は 158.4 でした。ちなみに男性は 13,937 人、女性は 6,022 人で死亡率はそれぞれ 110.6 と 47.8 となっています。がんによる死者数は 373,584 名で死亡率は 2,965.0 という高い値となっています。その他、様々なリスクで多くの方が亡くなっていますが、合計が上述のように 10,865 となります。今回は代表的なリスクの死亡率を紹介することで次回的话题に繋がりたいと思います。

何かと気忙しいのに、物理的には時間がある毎日かと思いますが、簡単ですが、休会が続く福島ロータリークラブ会員の皆さんへの会長からの話題提供とさせていただきます。